



カタクリ群生地

貴重なカタクリの群生地を保全するため公有地化し、4月23日(月)まで一般開放しています(午前9時～午後4時)。ぜひお越しください。詳しくは「広報みずほ」3月号、または町ホームページをご覧ください。
※写真は、昨年のものです。

主な内容

平成 24 年度 施政方針		2・3
平成 24 年度 まちの予算		4・5
みずほ伝言板	さくらまつり ～六道山の集い～ ほか	6～10
福 社	年金から介護保険料を納めている方へ ほか	11～14
インフォメーション	箱根ヶ崎南会館の改修工事が終わりました ほか	16～20
教育委員会からのお知らせ	平成 24 年度就学援助費のお知らせ ほか	21～25

平成24年度

施政方針

平成24年第1回瑞穂町議会定例会で、石塚町長から24年度の施政方針が発表されました。そのあらましをお知らせします。

問合せ 企画課

☎ 557-7468

東日本大震災により深刻な打撃を受けた日本経済は、その後、一時景気が持ち直したかに見えましたが、ユーロ圏で発生した財政危機に対する不安が世界中を駆け巡り、世界経済は減速し円高に拍車がかかりました。

国内では、増え続ける国全体の債務残高が過去最高を更新しています。国会で社会負担のあり方が議論されようとしていますが、国民生活の安定に向け実りある議論が交わされることを望みます。

不安な状況の中でも、身近な地方自治体の安定した政策が、町民の皆さまの最も期待するところであり、自治体運営の積極性を失うことなく、その期待に応えなければなりません。

平成24年度の予算は、これらの状況を踏まえ、町民の皆さまの健康と生活を守り、将来を的確に捉えた施策に基づき予算編成を行いました。

歳入では、町税のうち個人・法人町民税はとも若干の増収を見込みますが、固定資産税では地価下落状況下での評価替を受け減収を見込みます。町

税全体としては減収を避けられないと考えますが、町債の発行や一般財源を補てんする財政調整基金の繰入をできるだけ抑制し、財政力の低下を来すことのないよう努めました。

歳出では、第4次長期総合計画の基本理念「自立と協働」を視点とし、町民のだれもが瑞穂町を誇りに感じ、未来に引き継いでいくための施策展開を積極的に進めてまいります。

平成24年度

主な新規の取り組み

町民の更なる健康保持を図るため、保健師を増員して保健業務の充実を図り、成人病予防対策を強化します。また、がん検診クーポン券事業に「大腸がん検診」を加えます。

校庭の芝生化は五小で実施します。地域の方々や協働で芝生の維持管理を行い、児童の健全な育成と地域コミュニティの醸成を図ります。

行財政運営は、平成25年度に町税のコンビニエンスストア納付を開始するために必要な準備を整え、納税機会の拡大や利便性の向上を図ります。

「水・緑と観光を繋ぐ回廊計画」に関連し、平成24年度に実施するものを紹介します。まず、計画を町民との協働により展開するための推進組織設置に向け、アドバイザーを交え、手法や規模を検討します。拠点整備では、郷土資料館の実施設計に加え、計画ルート上に、まちに伝わる伝承を2基のモニメントにして設置します。

新たな取り組みをご紹介しましたが、次に、第4次長期総合計画の施策体系に沿って施策内容を紹介します。

健康で元気なみずほ

がん検診や予防接種と併せて、成人病予防を強化します。39年にわたった国民健康保険税課税方式の改定が最終年度をむかえます。

一人ひとりが輝くみずほ

一と二の冷暖房設備改修の設計を行い、快適な学習環境の整備を目指します。また、東京都のモデル事業を活用し、瑞穂に続き一と二の水道の直結化工事を行います。



▲校庭が芝生化された三小

新たな郷土資料館建設は実施設計に入ります。また、スカイホールでは外壁補修に引き続き、内部の改修工事を行い、施設機能の保持に努めます。

平成25年に実施される「スポーツ祭東京2013（国民体育大会・全国障害者スポーツ大会）」に向けて、町営第2グラウンドの整備を行うとともに、プール大会として「全日本総合女子ソフトボール選手権大会」を開催します。訪れる多くの方々に町の良さを感じていただけるように、準備を進めます。

将来にわたる地域活力を維持するため、各産業の持つ力を維持・発展させることを目的に、「産業振興ビジョン」の策定に着手します。また、特産品の創出として「大多摩B級グルメ大会」出品を支援します。

高齢者も多く利用する町民会館にエレベーターを設置します。併せて太陽光発電設備も設置し、人と環境に優しい施設に改修します。

町民と協働して「防災マップ」を作

安全安心

やさしいみずほ

東日本大震災の教訓等を踏まえ、国や東京都の動向を見据えながら、地域防災計画の修正に着手し、災害救助用資機材の配備を拡充します。

航空機騒音測定では、環境基準の変更に伴い、新たな機器を国の補助を活用して設置します。騒音被害の実態を明らかにし、騒音被害防止や環境整備を国や関係機関に要請します。

快適で美しいみずほ

町営住宅の延命化を図るため、「長寿命化計画」を策定します。

また、引き続き「箱根ヶ崎駅西」および「殿ヶ谷」の土地区画整理事業を推進するとともに、栗原地区土地区画整理事業では、事業認可に向けた課題解決に努めます。



▲箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業

成し、大規模災害時の行政機能を維持するため、「業務継続計画（BCP）」を策定します。非常備消防力の維持・強化として、消防団指揮車と第2分団消防ポンプ車を更新します。また、「耐震改修促進計画」に基づき、耐震診断と耐震工事の助成制度を構築し、準備が整い次第開始します。



▲太陽光パネルを設置した住宅

環境への配慮は、住宅用環境配慮型機器購入費の助成を継続するとともに、庁舎の照明器具を一部LED化し、省電力化を推進します。

都市基盤整備は、都市づくりの基本的方針を示す「都市計画マスタープラン」の改定に着手し、社会情勢の変化や土地利用方針の転換などを反映した計画とします。

総合計画を推進するために

道路は、新青梅街道役場入口交差点から武蔵村山市を結ぶ都市計画道路福3・5・24号線や、箱根ヶ崎駅西口から新青梅街道を結ぶ3・4・12号線の築造工事を推進するとともに、生活道路の改修や交通安全施設の設定工事を進めます。

より多くの方がまちづくりに参画する気運を高められるよう、町民と共に作り上げる「協働宣言」の策定を目指します。

広域行政では、昨年10月にスタートした電算共同運営の効率的、効果的な運用を図ります。

行政評価では、町民等から組織される「行政評価委員会」における事務事業評価を推進します。

全職員が、すべての事業を徹底して見直し、より効率的で効果的な行財政運営を心掛けるよう指示し、平成24年度予算を編成いたしました。

以上、主要事業を紹介しましたが、平成24年度は特に、町民の皆さまが健康で過ごすための施策、地域活力を取り戻すための施策、安全に安心して暮らせるまち、地域コミュニティの活性化、地域資源の有効利用、教育関連施策に重点的な予算配分を行うこととしました。

鋭意、施策実行に当たりますので、町民の皆さまのさらなるご支援をお願いいたします。